



新編 書道I 17 教出 書I 307

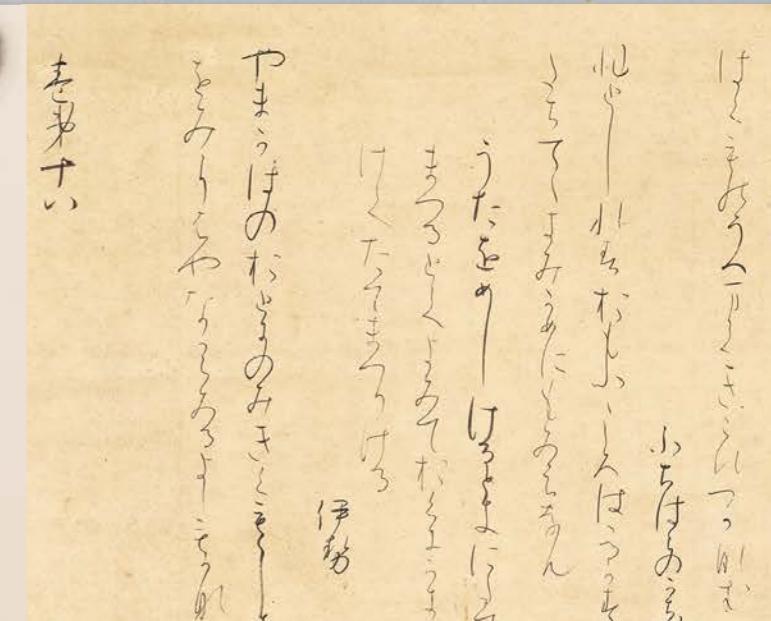
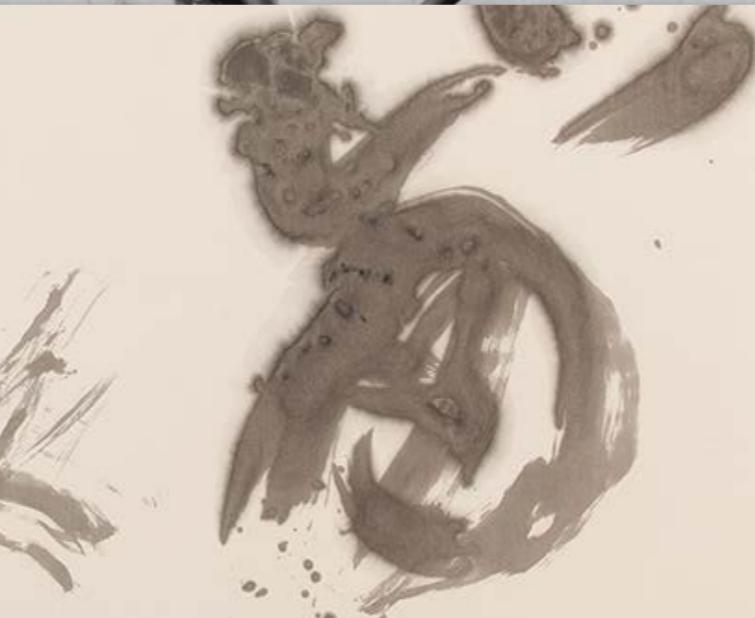
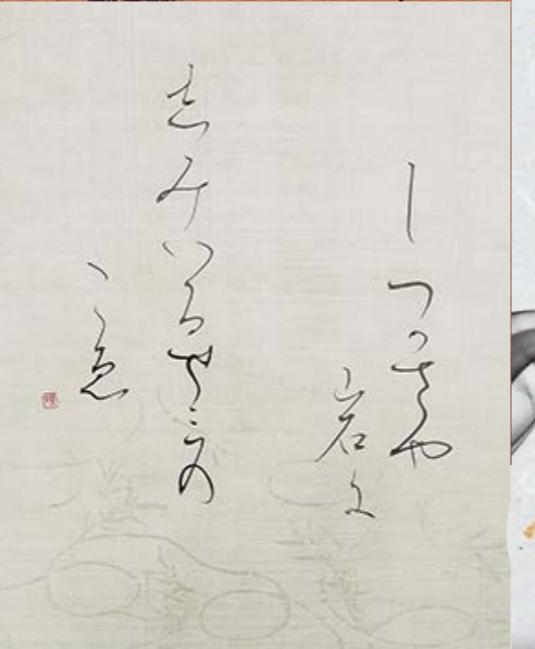
新編 書道II 17 教出 書II 307

【書道III 17 教出 書III 303】

平成30教 内容解説資料
教育出版

書の藝術性

文字そのものは、人間の意志を伝達する記号にすぎない。文字を媒体としてさまざまな美の要素が盛り込まれて、はじめて芸術としての書が誕生するのである。



太和九年十一月使持節司空公長樂
王丘穆陵亮夫人尉遲為亡息牛耕請工
鑄石造此彌勒像一區願牛耕捨於永段
之鄉騰遊无礙之境若存託生生於天上
諸佛之所若生世界妙樂自在之處若有
苦累即今解脫三塗惡道永絕因趣一切
衆生咸蒙斯福

書の美を求めて

自ら考え学習できる紙面構成

楷書、行書の基本教材を「九成宮醴泉銘」「蘭亭序」としました。生徒自らが考え学習できるよう、薄墨や写真による用筆・運筆の解説図版を掲載しています。



p.44-45 行書の基本を知ろう 蘭亭序

行書教材「永和九年」では、楷書で学習した「永」「和」字との違いを比べることで、行書の特徴を理解しやすい構成にしました。



p.22-23 楷書の基本を知ろう 九成宮醴泉銘

対比構成による学習の効率化

教材は、見開きによる対比構成を基本的な構成としました。古典の字形や用筆・運筆の特徴が視覚的にも理解しやすくなり、学習が効率的に進められます。



p.124-125 感動や思いを表現しよう



p.30-33 軽快と重厚
雁塔聖教序と顏氏家廟碑の鑑賞と臨書
学習の観点
学習の観点を示すことによって、生徒自らが考え学習できるように配慮しました。

書道IIの学習の中心は、篆書と隸書から

特徴的な用筆・運筆の様子がわかるよう、書きや薄墨と写真による解説を掲載しました。



日常生活の中での使用例を示した
「身のまわりに見られる篆書、隸書」を掲載。
生徒の文字に対する興味・関心を高められるようにしました。

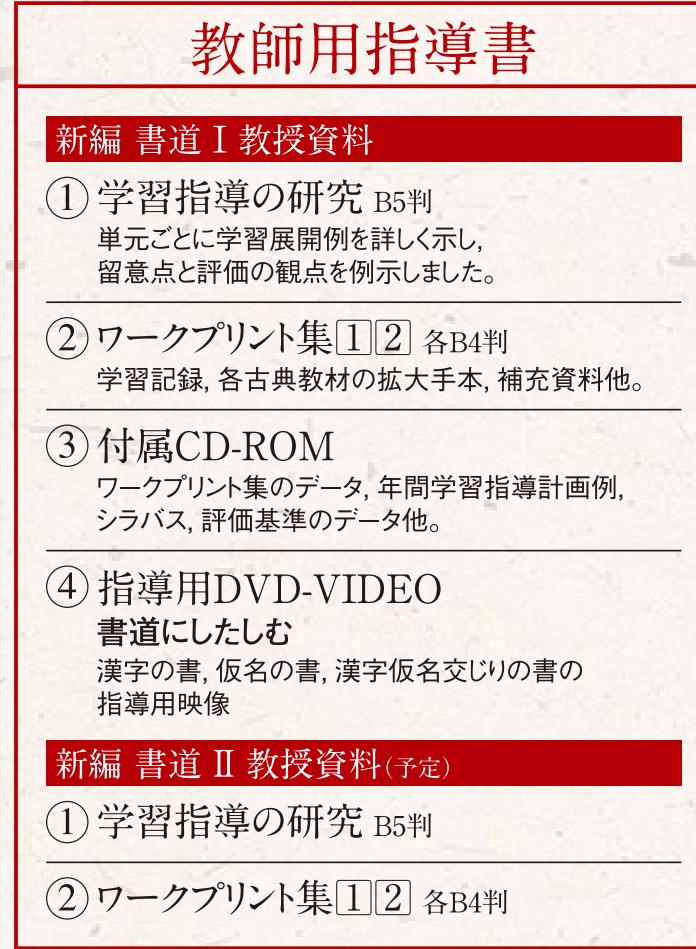


書道IIの豊富な鑑賞・臨書教材

さまざまな授業形態に対応できるよう、各書体の鑑賞・臨書教材の取材範囲を広げて掲載しています。



『書道III』教科書
【書道 III】
17 教出 書III 303



新編 書道I 教授資料

- ① 学習指導の研究 B5判
単元ごとに学習展開例を詳しく示し、留意点と評価の観点を例示しました。
- ② ワークプリント集①② 各B4判
学習記録、各古典教材の拡大手本、補充資料他。
- ③ 付属CD-ROM
ワークプリント集のデータ、年間学習指導計画例、シラバス、評価基準のデータ他。
- ④ 指導用DVD-VIDEO
書道にしたしむ
漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の指導用映像

新編 書道 II 教授資料(予定)

- ① 学習指導の研究 B5判
- ② ワークプリント集①② 各B4判



教材品

墨心(ぼくしん)

教科書の補充・発展的な作品や部分を、積極的に掲載しました。1年から3年まで、幅広くご活用いただけます。

A4判 96ページ
本体価格800円+税

高校硬筆の練習

高校書道で扱われる硬筆に対応した硬筆練習帖。楷書、行書、草書、仮名、漢字、仮名交じりの書を教材化。ペン字検定3級をターゲットにしています。高校硬筆の定番です。

B5判 64ページ
本体価格457円+税



新訂 ペン習字教本

楷書、行書、仮名の単体から文章教材まで練習できるペン習字教本。書式教材も豊富で、硬筆指導の教本としてロングセラーを続けています。

B5判 64ページ
本体価格457円+税



【新編 書道 I】【新編 書道 II】【書道 III】

検討の観点と特色



発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名	発行者名
17 教出	書 I 307	新編 書道 I	教育出版株式会社
項目	観点	特色等	
1 内容の選択・程度	*学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材 *基礎的・基本的事項の理解や習得のための配慮	○漢字仮名交じりの書、漢字の書、仮名の書が指導要領の内容にそって展開されている。実態に応じて、篆書、隸書、草書、篆刻、刻字も扱えるように配慮されている。 ○漢字、仮名の書の古典教材は、基礎・基本的なものを取り上げていて、書道Iにふさわしいものとなっている。	
2 組織・配列・分量	*学習指導を有効に進めるための組織・配列・分量	○学習の導入では、中学校書写から高等学校芸術科書道への展開が関連して学習できるように配慮されている。 ○漢字の書では、楷書の基本教材である唐の四大家の古典を基本教材として取り上げている。 ○仮名の書では、上代様の蓬萊切、高野切第三種を基本教材として取り上げており書道Iにふさわしいものとなっている。	
3 表記・表現および使用上の便宜	*学習意欲を高めるための配慮、用語・記号の取り上げ方および記述の方法 *印刷の鮮明度、活字の大きさ、行間、製本など	○漢字の教材は、羅列的な編成ではなく、教材同士を対比構成にしており、各教材の特徴が理解しやすいものとなっている。 ○学習の観点を示すことにより、生徒自ら考え主体的に学習できるように配慮されている。 ○本文活字は読みやすく、レイアウトにも視覚的な配慮がされている。 ○書道用語集は、基礎・基本的なものが掲載されており、授業でその都度、書道用語を確認しながら進められるなど活用に配慮がみられる。 ○表紙はコーティング加工して墨汁や汚れに強い堅牢なものになっている。また、製本は、あじろ縫じで堅固である。	
4 総合所見	○導入は、中学校書写からの復習から入り、漢字、仮名の書は基礎・基本的なものを取り扱っており、またその分量も適切であり、書道Iの内容にふさわしいものとなっている。		

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名	発行者名
17 教出	書 II 307	新編 書道 II	教育出版株式会社
項目	観点	特色等	
1 内容の選択・程度	*学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材 *基礎的・基本的事項の理解や習得のための配慮	○漢字の書では、漢字五書体を取り上げ、歴史的評価の定まった古典を基本教材として取り上げている。 ○仮名の書は、書道Iから学習を発展させる教材を取り上げ、高野切第一種を主教材とした構成となっている。	
2 組織・配列・分量	*学習指導を有効に進めるための組織・配列・分量	○漢字の書は、篆書・隸書・草書・行書・楷書の順に取り上げられていて、書体の歴史的成立過程の理解につながる特色ある編成になっている。 ○仮名の書は、同じ和歌を閑戸本・高野切などで比較して学習できる構成とし、学習の発展につながるよう工夫されている。 ○漢字仮名交じりの書は、漢字や仮名の古典の学習と関連させた作例を多く取り上げて、学習方法もよく配慮されている。 ○篆刻・刻字・書道史(日本・中国)の扱いも図版が多く用いることで生徒が大変理解しやすいものとなっている。 ○漢字の学習は、古典の図版が見やすく、鮮明な部分を選び、しかも古典ごとに半紙で学習するのに適した集字教材を示すことで、授業で大変扱いやすい構成となっている。	
3 表記・表現および使用上の便宜	*学習意欲を高めるための配慮、用語・記号の取り上げ方および記述の方法 *印刷の鮮明度、活字の大きさ、行間、製本など	○教科書巻末の書道史年表、書道史地図は資料写真を多く用いて、授業で活用しやすいものになっている。 ○全ページカラー化されており、古典教材の再現性が高まり、教材性、鑑賞性が豊かなものとなっている。 ○鮮明な印刷により古典教材の再現性が高まり、教材性、鑑賞性が豊かなものとなっている。 ○表紙はコーティング加工して墨汁や汚れに強い堅牢なものになっている。また、製本は、あじろ縫じで堅固である。	
4 総合所見	○漢字の書は五書体を取り扱い、仮名の書は高野切第一種を中心に基本的な教材を取り扱っており教材性、鑑賞性が大変豊かなものとなっている。		

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名	発行者名
17 教出	書 III 303	書道 III	教育出版株式会社
項目	観点	特色等	
1 内容の選択・程度	*学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材 *基礎的・基本的事項の理解や習得のための配慮	○書道I・IIで取り上げた教材内容をふまえ、程度や範囲を広げることで個性豊かな表現力や鑑賞力の拡大ができる構成となっている。 ○「書論」を各単元で扱うことによって、書への興味や関心を高め、鑑賞力をより深めることができるよう配慮されている。	
2 組織・配列・分量	*学習指導を有効に進めるための組織・配列・分量	○書道Iから書道IIへと高めてきた鑑賞の内容を、いっぽう高い視点から味わうことができる構成となっている。 ○漢字の書は、書体の歴史的成立過程、および書の変遷の理解につながる特色ある編成である。	
3 表記・表現および使用上の便宜	*学習意欲を高めるための配慮、用語・記号の取り上げ方および記述の方法 *印刷の鮮明度、活字の大きさ、行間、製本など	○古典の臨書から倣書を経て作品制作に至るプロセスが平易に解説され、参考となる資料も効果的である。 ○古典教材となる拓本の選択と印刷・製版に配慮があり、古典の特徴をよく表現している。 ○表紙はコーティング加工して墨汁や汚れに強い堅牢なものになっている。また、製本は、あじろ縫じで堅固である。	
4 総合所見	○教材は、書道I・IIの内容をさらに発展させる教材を取り扱っており、指導要領の内容からも適切である。また、分量も適切である。		



教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 TEL:03-3238-6811